

～～第7732回～～

立山三山

～H27.8.7-9～

立山黒部アルペンルートを通って立山三山を訪ねる。藤枝駅前をマイクロバスで3:00に出発。長野自動車道を安曇野ICで下り、扇沢7:45着。大した混雑もなく関電トロリーバスに乗る。巨大な黒部ダムを渡り、黒部ケーブルカーと立山ロープウェイを乗り継いで大観峰へ。雄山の下を貫通している立山トンネルをトロリーバスで潜って室堂9:55着。立山自然保護センターの自然観察ツアー(無料)に参加し、ナチュラリストの案内で室堂平を1時間程巡る。ミクリガ池に逆さ立山が写っている。イワイチョウ、チングルマが目立つ。昼食をとって浄土山へ向かう。五色ヶ原方面はガスで景色なし。雷鳥とイワヒバリに出会う。浄土山には標識がなく、どこが山頂かわからないまま、富山大学立山研究所(ここが南峰らしい)の横を通って一の越へ下る。今夜の宿は一の越山荘。小屋のトイレは水洗で、数も多くきれい。

(2日目)いきなり雄山への急登が始まる。頂上の雄山神社峯本社でお祓い(500円)を受ける。奥大日岳から室堂平の眺望がすばらしい。振り返れば黒部湖が満々と水を湛え、後立山の峰々が連なる。大汝山から富士ノ折立へ歩むと、尾根は急に落ち込み急な岩場の下りとなる。下ってしまえば緩やかな稜線が真砂岳から別山まで続く。尾根の両側に幾つものカールが見られるのも立山らしい。別山(南峰)で昼食、お茶休憩の後、北峰まで往復する。眼前に劔岳がそびえ立ち迫力満点。劔御前小屋から新室堂乗越を経て雷鳥沢へ下山。テント場を抜けると雷鳥沢ヒュッテはすぐだ。玄関横では沼津支部の面々が既に盛り上がっていた。外観は素敵だが、内は結構ボロい。温泉はうれしいが超熱々。無料の卓球台があるのはよい。地獄谷は有毒ガスのため立ち入り禁止になっている。

(3日目)今日は室堂から弥陀ヶ原まで歩く。その前に、日本最古の山小屋と言われる立山室堂山荘の古い山小屋(国重文)と少し先の玉殿岩屋を覗いてみる。室堂バスターミナルで乗車券を購入し、ターミナルの横から左に下る。天狗平への道は石張りで、チングルマ、ミヤマキンバイなどのお花畑だ。特に青紫のミヤマリンドウとシロバナタテヤマリンドウが並んで咲き印象的。高原道路を横切ると天狗平山荘に出る。ここからは木道になり、鏡石平にはガキ田と呼ばれる池塘が点在し、ワタスゲ群落や花を咲かせたモウセンゴケがみられる。ただ、笹の侵入が激しく湿原が笹に覆われてしまうのが心配される。突然、崖が現れ鎖場となる。濡れていて滑りやすい。下りきった所から振り返ると断崖にゴリラの横顔のような巨岩が露出していて、獅子鼻岩だとわかる。標高差は100m程。ここを抜けると弥陀ヶ原の散策道となる。弥陀ヶ原は、湿地を保存するラムサール条約の登録地で、この辺りの高層湿原は整備されているため観光客が多い。バスを待つ間、弥陀ヶ原ホテルのレストランでカツカレーと生ビールの昼食をいただく。弥陀ヶ原バス停13:15発の直通バスに乗り、富山空港15:15着。待たせてあったマイクロバスに乗り、北陸自動車道富山ICから東海北陸自動車道を経由して新東名岡部ICで

下りる。藤枝駅 22:05 着。

参加者:11名(藤枝11名)

天候:晴(7-9日)

地図:立山

コースタイム:室堂 1230…浄土山 1415…一の越山荘(泊)1525-640…雄山 745…別山 1115-1200…劔御前小屋 1255…雷鳥沢ヒュッテ(泊)1515-610…室堂 807…天狗平山荘 856…獅子鼻岩 1017…阿弥陀ヶ原バス停 1145

記録:藤枝支部 ゆ記



新室堂乗越の下りからの立山



大汝山からの劔岳